

## 論文原稿チェック項目 (2014.4.1 版)

論文原稿の記載方法については「日本冷凍空調学会論文集執筆要綱」に詳細を記載していますが最初に投稿された原稿の代表的な誤記の事例から、体裁上、表記上の注意点をまとめてみました。また、新たに統一を図りたい点もご案内しています。念のため、投稿前にもう一度ご確認ください。

### 1 ページ目と、最終ページの体裁についてそれぞれご確認ください。

- 和文原稿の場合、まずは1 ページ目に和文で、タイトル、著者名、所属、要約、キーワードを記載する。
- 和文原稿の場合、原稿末尾に改ページしたうえで、上記それぞれの英訳を記述する。
- 著者の所属所在地の英語表記は、○丁目・○番地・○号 町名、区は（例 Minato-ku）、市郡村は名称のみ（例 Yokohama）、都府県は名称のみ（例 Tokyo Osaka Kanagawa 北海道は Hokkaido）郵便番号の順で表記して下さい。（例 7-3-1 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo 108-8477）
- 日本の場合は Japan を省略して下さい。（海外の場合は国名を記載して下さい）
- 県名と市名が同じ場合は県名を省略して下さい（例 Nishi-ku, Fukuoka 819-0395）  
**（より詳しい説明は別紙テンプレートを参照のこと）。**
- 使用文字の体裁
  - 日本語は明朝体（MS 明朝など）、英語は Times 系フォント（Times New Roman など）を使用する。
- タイトルは上部余白（30mm）から1 行空けて書き始め、中央に揃える。
- 日本語タイトルの文字の大きさは明朝 14 pt（行間1 行）とする。
- 継続であることを表わしたい場合は、改行して副題をつける。日本語副題は 12 pt（行間1 行）とする。
- 英語題目は 12 pt 太字（行間1 行）、英語副題は 10.5 pt 太字（行間1 行）とする。
- 英語のタイトルに関しては、前置詞や接続詞などを除き各単語の最初の文字を大文字にする。
- 著者名：文字の大きさは日本語・英語共に 10.5 pt（行間1 行）とし、タイトルから1 行分空ける。  
また、英語の場合、姓は全て大文字で書く。ローマ字書きの様式は以下の例による。  
（日本語表記の例）山 田 太 郎\* 川 上 次 郎\*\* 山 川 三 郎\*<sup>†</sup>  
（英文表記の例）Taro YAMADA\* Jiro KAWAKAMI\*\* Saburo YAMAKAWA\*<sup>†</sup>
- コレスポンディングオーサー（連絡先となる著者）には<sup>†</sup>印を付す。
- テンプレートの様式に従い、コレスポンディングオーサーの FAX 番号および Email アドレスを所定の欄に英語で記載する。（本文1 ページ左下部分に、<sup>†</sup>Fax: から書き始める）
- 要旨：和文原稿の場合、論文内容を 300 字程度にまとめ、最初の1 文字を空けて書き始める。  
文字の大きさは 10 pt（行間隔 12 pt）とし、所属から1 行分（行間1 行）空けて印字する。  
図表は用いず、文献なども引用しない。
- キーワードは主題を的確に表現し、論文の内容がよく推測できるような語句を 5～8 語句程度選ぶ。  
その際、別添の標準キーワード集から 2 語程度選び、最初に配置する。
- 本文の体裁についてそれぞれご確認ください。**
- 本文は 2 段枠組みとし、キーワードから 10 pt 文字で 2 行分空けて印字する。
- 段間隔は 12 mm とし、マージンは、上 30 mm、下 27 mm、左右 24 mm
- 1 ページの行数は 44 行（行間を 15.4 pt とする）
- 1 行の字数は全角 21 文字とする。
- 記載は原則として、緒言、記号および略号、理論、解析、実験、方法、結果、考察、結言、文献の順序。
- その他、記号、図番号・表番号・文献が正しく表記されているかご確認ください。**
- 番号が飛んでいないか。同じ番号が存在していないか。本文中で示した番号と一致しているか。
- 写真や図表が鮮明に出力されているか。（薄い網掛けは、実際の印刷では写らないことが多いです）

- 図表中の表題や説明が英語で表記されているか.
- グラフの縦軸タイトルの向きは正しいか.
- Fig. (ピリオド)      Table (ピリオドなし) で表記して下さい.
- 「Fig. 」や「Table 」と番号の間には半角スペースを入れて下さい.
- Fig. 1 Experimental apparatus のように、番号とタイトルの間に全角スペースを入れて下さい.
- 和文、英文にかかわらず原稿中で図表を参照する場合には、 Fig. 1, Figs. 1-3, Table 1 のように記す。ただし、文頭の時は Figure 1 のように略さずに書く。
- 句読点 ( 、 。) を使用せず、カンマ、ピリオド ( , .) を使用して下さい.
- 単位: SI 単位を使用して下さい.
- 量記号: イタリック (斜体) を使用して下さい. 記号の説明は日本語で表記して下さい.
- 文献リストは本文末尾にまとめて英語で記載し、本文とは異なり、Times New Roman 9pt で、改行は固定値 12pt です。(※和文原稿の場合も文献リストは英語で記載してください)

この他、詳細情報について当会ホームページの論文集投稿規程を参照ください.

- 日本冷凍空調学会論文集執筆要綱 (2014.4.1 施行)
- 論文テンプレート (2014.4.1 施行)

URL: <http://www.jsrae.or.jp/touko/sample.html>

【以下、執筆要綱から文献の記載方法を抜粋】

- a) 雑誌の場合
  - 著者名, 論文題目, 雑誌名, 出版年, 巻 (号), 始まりと終わりのページ. (雑誌名は斜体, 巻は太字とする)
  - (例) Tanaka, T., Study on Refrigeration, *Transactions of the Japan Society of Refrigerating and Air Conditioning Engineers*, 2009, **26**(1), pp. 42-53. (in Japanese)
  - Kaushik, S.C. and Arora, A., Energy and Exergy Analysis of Single Effect and Series Flow Double Effect Water-Lithium Bromide Absorption Refrigeration Systems, *International Journal of Refrigeration*, 2009, **32** (6), pp. 1247-1258.
  - (例; 英文名がない場合)
  - Reito, K., Dehumidification Behavior of Desiccant Rotor (Deshikanto rota no jyoshitsu kyodou), *Bunri gijyutsu*, 2009, **20**(1), pp. 142-153. (in Japanese)
- b) 書籍の場合
  - 著者名, “書名”, 巻 (1巻のみの時は不要), 改版 (編者名), 発行年, 発行所, 発行地, 引用ページ.
  - (例) Tanaka, T., “Refrigerating Machine”, 1996, Japan Publishing Co., Tokyo, pp. 40-42. (in Japanese)
  - Ito, J., “Air Conditioning”, Vol. 3, 2nd ed., (ed. by T. Tanaka), 1983, Air Conditioning Press, Tokyo, pp. 45-46. (in Japanese)
  - Franks, F., “Effects of Low-temperatures on Biological Membranes”, (ed. by Morris, G. J. and Clarke, A.), 1991, Academic Press, London, pp. 3-19.
- c) 訳書の場合
  - 原著者名 (訳者名), “書名”, 発行年, 発行所, 発行地, 引用ページ.
  - (例) Kriss, A. E. (Translated from Russian by Shewan, J. M. and Kabata, Z.), “Low Temperature Preservation Foods”, 1996, Oliver and Boyd, Edinburgh, UK, pp. 43-51.
- d) 国際会議論文集の場合
  - 著者名, 講演論文集名, 開催地 (開催年), 巻, ページ.
  - (例) Lorentzen, G., Proceedings of New Applications of Natural Working Fluids in Refrigeration and Air Conditioning, Hannover, Germany(1994), pp. 23-36.
  - Jansen, M. J. P., Engels, F. L. M. and Kuijpers, L. J. M., Proc. 19th Int. Cong. Refrig., Hague, Netherlands (1995), Vol. IVb, pp.860-867.
- e) 国内学会講演論文集の場合
  - 著者名 (全著者名を示す), 講演論文集名, 開催地 (開催年), 巻, ページ.
  - (例) Reito, T. and Kucho, H., Proceedings of 2003 JSRAE Annual Conference, Tokyo (2003), pp. 1-4. (in Japanese)
- f) 技術資料 (カタログ) の場合
  - 技術資料名: 発行会社名, (発行年).
- g) 特許の場合
  - 発明者名, “発明名”, 年, 特許・出願・公開番号.
  - Reito, T. and Kucho, H., “Refrigerator”, 2002, US Patent 1234567.
  - Kameyama, H., “Production Method of Thermal Conductive Catalyst” (in Japanese) , 2009, Japanese Patent Disclosure H02-144154.
- h) Webサイトの場合
  - WebサイトURL, (引用年月).